

## LORC 2005年1月スケジュール

- 7日(火) 第3班第5回研究会  
時 間: 12:30 - 16:30  
会 場: 龍谷大学深草学舎内紫光館3階会議室  
テーマ: 2004年度研究成果編集方針と2005年度の研究体制について
- 14日(金) LORC(第1班主催)シンポジウム:  
「英国リバプール市における地域戦略パートナーシップ 地方自治体にいかなる革新をもたらそうとしているのか」  
時 間: 13:30 - 16:30  
会 場: キャンパスプラザ京都2階第1会議室  
講演者: ヒラリー・ラッセル氏(リバプール・ジョンムアー大学教授)  
「英国における地域再生のあゆみと地域戦略パートナーシップ」  
ペニー・ウェイクフィールド氏(リバプール・パートナーシップ・グループ事務局長、リバプール市職員)  
「リバプール市における地域戦略パートナーシップの展開」
- 15日(土) 第1班第4回研究会  
時 間: 10:00 - 16:00  
会 場: 龍谷大学深草学舎21号館403教室  
テーマ: 英国リバプール市における地域戦略パートナーシップ  
(英国からのゲストを招聘しての講演と討論)
- 16日(日) LORC(第1班主催)シンポジウム:  
「英国リバプール市における地域戦略パートナーシップ NPO、コミュニティ組織、行政の新しいパートナーシップの展開」  
時 間: 13:00 - 16:00  
会 場: 龍谷大学深草学舎21号館403教室
- \* 上記14日~16日の3つのイベントすべてで、ラッセル氏とウェイクフィールド氏に講演をして頂きますが、講演内容はすべて同じです。14日は主に自治体職員向け、16日は主にNPO、コミュニティ・グループの関係者向けです。報告・討論には逐次通訳が付きまます。なお、入場は無料です。詳しくは、第1班RA辻本([tsujimoto@rnoc.fks.ryukoku.ac.jp](mailto:tsujimoto@rnoc.fks.ryukoku.ac.jp))まで。
- 28日(金) シンポジウム: 大学・市民・企業・行政協働プロジェクト「暮らしに根ざした、心地よいまち」  
主 催: LORC、東京農工大学 COE(新エネルギー・物質代謝と「生存科学」の構築)、三重県  
後 援: (財)日本グラウンドワーク協会  
時 間: 13:00 - 17:00

会 場：三重県勤労者福祉会館 6 階講堂（三重県津市）

（変更された場合は、参加者にその旨お知らせ致します）

スピーカー：逢坂誠二氏 北海道ニセコ町 町長（LORC 研究員）

関原 剛氏 新潟県上越市 ウッドワーク協同組合理事

松場登美氏 島根県大田市大森町 石見銀山生活文化研究所所長

吉本哲郎氏 熊本県水俣市生涯学習課長 地元学事務局長

コメンテーター：白石克孝氏 龍谷大学教授（LORC 第 1 班代表）

千賀裕太郎氏 東京農工大学教授

28 日（金） 第 2 班第 7 回研究会：

「大学教育システムワーキンググループ、研修システムワーキンググループの設置と活動計画について」

時 間： 18：00 より

会 場： 詳細未定。シンポジウム会場にお越し下さい

## 各班活動状況

### 第 1 班 RA 辻本 乃理子

12 月 10 日第 3 回研究会では、班代表白石先生と PD 的場・RA 辻本より英国調査報告、今後開催を予定している研究会およびシンポジウム開催について、2004 年度研究報告書について話し合いが持たれました。他班の研究員の方々にもご参加いただき、活発な議論が行われました。また、2005 年 1 月 14 日、15 日、16 日には英国リバプール市よりリバプール・ジョンムアール大学教授 Hilary Russell 氏とリバプール・パートナーシップ・グループ事務局長、リバプール市職員 Penny Wakefield 氏を招聘し、シンポジウムを開催いたします。14 日は自治体職員向け、15 日は 1 班第 4 回研究会、16 日は NPO・コミュニティ組織向けとして開催します。

### 第 2 班 RA 新井 健一郎

12 月 11 日に開催された第 6 回研究会では、今後の研究展開について、実際に拠点を持って自治体・NPO・大学などと協働してプログラムを試行することを念頭に、1) 大学教育システム、2) 研修システムについて検討するワーキンググループをつくり活動を加速させていくことなどについて議論が交わされた。第 1 班が予定している三重県でのシンポジウムに合わせて開催する次回研究会（1 月 28 日）では、それを更に具体化していくために検討を重ねる。なお、今年度前半に取り組んできたブックレットは、ほぼ原稿も出揃い、年明け早々にも入稿できる予定。

### 第 3 班 RA 田村 瞳

去る 12 月 22 日（水）に東京で、米国からのプロジェクト招聘研究員である Dr. Werner 先生による日本技術者教育認定機構（JABEE：Japan Accreditation Board for Engineering Education）と大学基準協会の担当者とのヒアリング調査が行われました。日本における認証・評価機関の実情や今後の展望、そして米国との比較などの中身の濃い意見交換がなされました。12 月 27 日（月）には、金沢大学からの依頼で Dr. Werner 先生の「評価・認証システムの日米比較について」の講演があります。その 10 月から来日されている Dr. Werner 先生は、1 月 3 日（月）に帰国されます。また、次回の第 3 班の第五回研究会は、1 月 7 日（金）に開催予定です。そこでは、LORC の 2004 年度研究報告の編集方針と 2005 年度以降の LORC の研究体制について話し合います。

### 第 4 班 RA 金 湛

今月は第 4 班の研究会は開催されなかった。11 月 8 日に行われた研究会の議事録を作成するのが主な仕事となっている。また、来年一月中旬に第 6 回研究会の開催を予定している。議題として、本年度の活動の総括および来年度の活動の内容について、を予定しており、そのための準備を少しずつ進めている。さらに、年度末に向けてこの一年間の RA の仕事のまとめや反省をしなければならない。

## LORC information

### 冬休み期間について

今年の冬休み期間は、12月28日(火)から1月5日(水)までです。この間は人間総研のオフィス、LORC 支援室とも完全にお休みになります。皆様楽しいお休みをお過ごし下さい。

### 第3班が招聘していた Werner 教授が帰国されます。

10月初旬より LORC プロジェクトに参加して頂いた、南イリノイ大学名誉学長の Werner 教授が、3ヶ月の契約期間を終えて来年1月初旬に帰国されます。教授にはこの3ヶ月間、関東・関西地域で調査や講演会など精力的に活動して頂きました。この場をお借りして御礼申し上げます。なお、今回の成果は、「大学評価システムの日英比較」として後日教授に報告書を提出して頂きますので、皆様ご期待ください。

### 第2班の研究成果「地域政策を担う人材育成のあり方と課題に関するアンケート調査最終報告書」が完成しました

第2班が昨年度末から取り組んでいた自治体向けアンケートですが、ついに最終報告書が完成しました。LORC 研究員の皆様にはすでに郵送させて頂きました。ご協力を頂いた皆様にこの場をお借りして改めて御礼申し上げます。数に限りはございますが、まだ多少冊子は保管してありますので、ご入用の際は、第2班 RA 新井 ([ken-arai@noc.fks.ryukoku.ac.jp](mailto:ken-arai@noc.fks.ryukoku.ac.jp)) までご連絡下さい。

### LORC ウェブサイトに LORC 所有の文献リストをアップロードしました。

一度是非ご覧下さい。なお、コピーなどがご入用の場合は、LORC 支援室までご連絡下さい。

## LORC 資料室内文献紹介

本年度の LORC で購入した文献のうち、現在 LORC 資料室に保管してある文献についてはほぼご紹介を終わりました。LORC 研究員の皆様には12月20日(月)のメールでもお願い致しましたが、資料室の充実をはかるため、皆様から LORC にとって有益な文献・映像資料などの情報をご提供頂きたいと思っております。皆様ご協力宜しくお願い致します。

雑誌の情報は以下のサイトへ！

ガバナンス

[http://www.gyosei.co.jp/book/g\\_zassi/gover/index\\_gover.html](http://www.gyosei.co.jp/book/g_zassi/gover/index_gover.html)

日経グローバル

<http://www.nikkei.co.jp/rim/>

## LORC 研究員のひとこと(紹介)

今月の「LORC 研究員のひとこと」はお休みさせていただきます。楽しみにされていた皆さん、ごめんなさい。

## 掲示板

### 第 1 班研究員の山口道昭先生（立正大学法学部教授）の記事が、「ガバナンス」12月号に掲載されています

山口先生の記事「職員のエンパワーメントを図る自治体組織」が「ガバナンス」12月号（2004年 No.44、P.20-22）に掲載されています。LORC でも「ガバナンス」は所有しておりますので、コピーなどご入用の際は、LORC 支援室までご連絡下さい。

### 新聞・雑誌などの記事について

新聞、雑誌などにご自分の記事が掲載された時は、ぜひ LORC 支援室の場（[matoba@noc.fks.ryukoku.ac.jp](mailto:matoba@noc.fks.ryukoku.ac.jp)）までお知らせ下さい。こちらでも出来るだけピックアップするようにしていますが、すべてをカバーするのは困難ですので、宜しくお願い致します。

## 編集後記

生まれて初めて「人当たりがソフト」と言われてびっくりしてしまいました。年を取って人間が丸くなったのでしょうか？ちなみに身体のことではありません。まだまだ未熟なところがございますが、来年もよろしく願い申し上げます。（N）

今年もお世話になりありがとうございました。よい年末年始をお過ごしください。（K）

センセイでさえ走り回る季節の「師走」。本当に早いものであつという間に、今年も慌ただしく終ろうとしています。良い御年をお迎えください。（H）

年末になって、忘年会や打ち上げパーティなどの飲み会が多くなってきました。胃腸の負担も大きくなって、体調を壊さないように気をつけましょう。皆さんよいお年を迎えるように。（Z）

前回この欄で、「良いお年を」などと書いていたのに、最後にもう一度書く羽目に……。ま、ご挨拶は何度しても悪くはないので良いですね。皆様、今年も LORC プロジェクトにご協力頂き誠にありがとうございました。そしてお疲れ様でした。本プロジェクトをさらに有意義なものにするために、私共 PD・RA チームもより一層努力して参ります。来年もどうぞ宜しくお願い致します。それでは改めて、「良いお年をお迎え下さい」（T）

**1年間お疲れ様でした。  
来年も宜しくお願い致します。**

LORC Newsletter Vol7, 24 December 2004

編集・発行：龍谷大学地域人材・公共政策開発システムオープン・リサーチ・センター（LORC）支援室

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67

TEL: 075-645-2312 FAX: 075-645-2240

E-mail: [matoba@noc.fks.ryukoku.ac.jp](mailto:matoba@noc.fks.ryukoku.ac.jp)（PD 的場） WEB: <http://lorc.ryukoku.ac.jp/index-jp.html>